

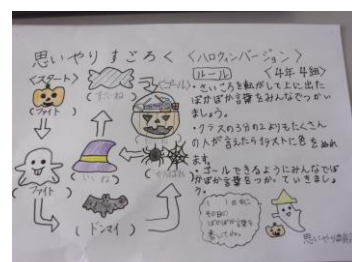
射水市立大門小学校活動報告書

「思いやりすごろく」の取組

10月26日～11月10日の期間に全校のみんなが思いやりのある言葉（ぽかぽか言葉）を使うことで、笑顔あふれる学校をつくらうと、思いやり委員会が中心となり、「思いやりすごろく」の取組を行いました。ぽかぽか言葉を書いたさいころとすごろくシートを作成し、各クラスに配付しました。朝の会でさいころを振って出た目を書いてあるぽかぽか言葉をクラスの4分の3以上の人が言えたら、すごろくに色を塗ってもらうというものです。10日間続けることで、学級全体のぽかぽか言葉への意識を高めることができました。思いやり委員会の子供たちも、自分たちの活動を通して、クラスや学校に温かい雰囲気を広まったことを感じ、満足感を味わいました。



【さいころを作成する子供たち】



【ゴールした思いやりすごろく】

「赤い羽根共同募金活動」の取組

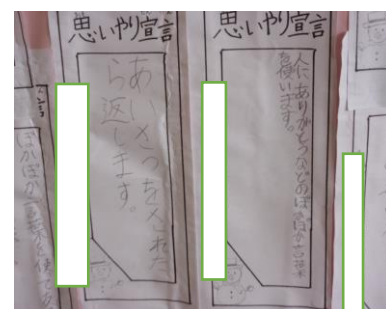
11月24日～11月30日の期間、思いやり委員会が中心となり、地域に住むすべての人が安心安全に生活するために、「赤い羽根共同募金活動」を行いました。思いやり委員会の子供たちがチラシを作成し、各教室へお願いに行きました。11月28日、29日の2日間玄関先で回収し、たくさんの募金が集まりました。募金額を公表することで、一人一人の力を集めることで大きな力になって人の役に立つことができたことを実感しました。



【募金活動の様子】

「思いやり宣言」の取組

1月25日～2月5日の期間、思いやり委員会が中心となり、みんなに思いやりの心をもって生活して明るい学校をつくるため、「思いやり宣言」の取組を行いました。一人一人が目標をもって過ごすことができるよう、思いやり委員会が中心となって全校の子供たちに相手を思いやる行動宣言をシートに書いてもらい、各クラスから集めた目標を思いやり委員会が模造紙1枚に貼り合わせ、各クラスに届け掲示してもらいました。一人一人の思いやりの心が膨らみました。



【各クラスに掲示した思いやり宣言】

◆最後にひと言

本校では、上記の活動の他に、「書き損じはがき回収」や「心のとも運動」等の取組をしました。また、生活安全委員会が中心になり年間を通して「あいさつ運動」を展開し、進んで挨拶をする子供が増えました。来年度はさらに子供たちの主体ボランティア活動を活発に行うことができるよう取り組んでいきたいです。